

## 普及活動情勢報告（令和元年10月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

デルフィニウムの輸出を目指して！ 輸出検討会を開催しました。



10月1日、JA香美地区本所会議室でデルフィニウム生産者と市場、関係機関14名でデルフィニウムの輸出に向けた検討会を開催しました。農業改良普及課は、会の提案や開催に向けた関係機関の調整、輸出に向けた輸送方法等の助言をしました。

当日は「11月～4月頃まで輸出にチャレンジしていきたい」などの前向きな意見が聞かれました。また、栽培ほ場では生産者から収穫の切り前についての注意点などが聞かれ、活発に意見交換する場面が見られました。

今後は、輸出に対応できる高品質な切り花生産への支援や最適な輸送方法を検討していきます。

認定農業者の皆さん、経営のレベルアップについて考えてみませんか？



10月4日、認定農業者の経営マネジメント力向上を目的とした研修会が香南市認定農業者連絡協議会主催で開催されました。安芸市の農業生産法人代表を講師として、経営の取り組みについて32名が学びました。

講師からは「次世代型ハウス等を整備し、生産体制は整ったので今後は経営安定に向け人材の確保・育成に力を入れていきたい。働きたいと思ってもらえる職場づくりのために法人化した。今は経営理念を明確にし、雇用者と共有出来るよう取り組んでいる。」との話がありました。参加者からは「今後の参考となる話が聞けた。」と好評でした。

普及課では今回の研修内容を農業者の経営に活かせるよう支援していきます。

そぐり機を使いこなそう！ ～ニラ栽培講習会を開催～



9月12日、17日にJA高知県香美地区園芸部ニラ部会は栽培講習会を開催し、生産者42名が参加しました。

農業改良普及課では、ニラそぐり機の利用率向上に向けて、導入および利用状況や利用に際しての工夫事例をまとめた手引き書を作成し、説明しました。

参加した生産者からは、「調製作業員が減ったため、一人でも作業できる使い方が参考になった。」「工夫事例についてもっと詳しく知りたい。」という意見が聞かれました。

農業改良普及課では、今後もそぐり機械の利用率向上をすすめ、出荷量増加や規模拡大を図っていきます。

### ネギアザミウマの防除に向けて～キリナシノズル実演会～



9月27日、香南市野市町のニラハウスで、香美地区ニラ部会がキリナシノズルの実演会を開催し、香美・土長地区の生産者や関係機関35名が参加しました。

ニラ栽培では、ネギアザミウマの薬剤抵抗性の発達が問題となっており、農業改良普及課はJAと協力して効果的な防除方法を検討しています。今回は、ノズルの種類別に感水紙を用いて薬液の付着具合を比較、検討しました。生産者からは「霧にならん方が株元までかかっている」など、キリナシノズルの効果を実感する声が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も害虫防除技術の確立に向けて現地調査や部会活動への支援を継続していきます。

### ピーマン現地検討会(JA高知県香美地区)の開催！



10月4日、香美地区ピーマン部会が香南市で現地検討会を開催し、生産者11名が参加しました。

農業改良普及課は、pFメーターによるかん水管理を説明し、設置方法を実演しました。

生産者からは「うちでもやってみたい」「なぜ20cmの深さに設置するのか？」など関心が高く、新たに2戸がpFメーターを導入することになりました。

農業改良普及課では、今後も現地検討会や栽培講習会等により生産者の技術向上を図っていきます。

### 中央シトウ部会が平成31園芸年度総会を開催！



10月25日、JA高知県南国市園芸部中央シトウ部会の平成31園芸年度総会が開催されました。部会員18名の他、部会参入予定の生産者や就農前の研修生も同席し、議事や販売情勢等が審議、報告されました。

農業改良普及課は、今作の病虫害の発生条件と対策、登録農薬の天敵への影響について説明しました。生産者からは、複数の登録農薬のうち、害虫防除により効果的な農薬散布の組み立て等に関する質問がありました。

農業改良普及課では、現地ほ場での実証結果を生産者にフィードバックする等、シトウの生産安定を支援していきます。